

第46回市民事業専門委員会の結果概要

- 日時 平成26年9月2日 9:30～11:30
- 場所 かながわ県民活動サポートセンター12階第一会議室
- 出席者：増田 清美 委員長、萩原なつ子 副委員長、服部 俊明 委員、林 義亮 委員
- 結果概要

1 市民事業専門委員会の取組について

新たな支援団体の開拓について、県機関や市町村のNPOセンター等が実施するイベントにおいて募集チラシを配布し、市民事業支援補助金の周知を図ることとした。

2 市民事業交流会について

平成26年度の市民事業交流会の企画内容を決定し、平成26年10月19日(日)に開催した。
(資料1-2参照)

- 昨年のワールドカフェでは「金」、「人」というのが出てきたことから、今回の意見交換のテーマは活動資金とし、なぜ資金が集まらないのか自省をしてみることにする。
- 来場者向けのクイズは、団体のところに行って会話するように仕向けるため、出展団体に関する問題を出題する。

委員会における主な意見 (○=委員の発言 ●=県側の発言)

【市民事業専門委員会の取組「新たな支援団体の開拓」に対する方策の検討】

- トラストみどり財団などで県民を集めてボランティア活動を行っているが、そのようなときに配布するというのも1つの手だと思う。公平には欠けるものの、ダイレクトメールが一番効果的か。
- 県政モニターOB会では、9月30日に新聞記者をお呼びして県民センターで講演会を行う。11月11日はヴェルク横須賀で横須賀市長との懇談会、それから11月28日には箱根町役場で箱根町長との懇談会を行うほか、12月7日には戸塚区総合庁舎で開催するとつかお結び広場に出展する。以上のような催事のときにチラシを配り周知する。
また、県西地域には酒匂川ネットワーク会議など、酒匂川流域に関わっている団体もあり、市民事業支援制度の周知に良いだろう。
- 28年度に向けた新規団体の開拓のため、来年3月7日と8日に開催される市民活動フェア2015(かながわ県民センター)などのイベントにおいても配架をするようなことも、市民事業専門委員会として行ったほうがよいだろう。